

S-2 : 執行部主導セッション

開催日時・会場 9月19日(水曜日) 13:20 - 14:50 メインホール(1階)

大学執行部セッション / 日本の大学の研究力の復活とURAの役割

昨年3月に開催された文科省主催「URAシンポジウム 大学等の研究力・経営力の向上に向けて～大学等が求めるURAシステムの確立・強化にどう取り組むか～」にてとりあげられたように、URAを大学の研究力強化に活かすための議論・取組が文科省・各大学など複数の場で、同時並行的に行なわれている現状がある。

本セッションでは、経営層あるいはそれに近い立場の役職者、関係諸団体の代表等に登壇いただき、大学の研究力強化に資するURAの役割、スキルアップ、質保証の取組みについて、URAの存在力を高め、発展向上するための方策を討議する。

質疑応答を含むディスカッションを実施し、セッション参加者を交えた議論を行う。

オーガナイザー

山崎 光悦:金沢大学 学長
リサーチ・アドミニストレーター(RA)協議会会長



1976年金沢大学大学院工学研究科修士課程修了。1976年金沢大学工学部助手、1985年助教授、1994年教授。1989年～1990年文部省在学研究員(カリフォルニア大学サンタバーバラ校)。2010年～2012年理工研究域長・理工学域長。2012年理事(研究・国際担当)・副学長。2014年より現職。専門分野は設計工学、計算力学、材料力学など。

講演者



武田 廣 : 神戸大学 学長

S52年3月、東京大学大学院理学系研究科博士課程単位修得退学。S53年1月 東京大学理学部附属素粒子物理学国際協力施設助手。以後、素粒子物理国際センター助手、同助教授。H元年4月に神戸大学理学部教授。以後、理学部長、附属図書館長、理事等を歴任。H27年4月より国立大学法人神戸大学長。受章歴として、H7欧州物理学会特別賞(グルオンの存在確認: JADE実験)、H25欧州物理学会賞(ヒッグス粒子の発見: ATLAS実験)。



佐治英郎 : 京都大学 学術研究支援室 室長・理事補 (研究)

1976年京都大学大学院薬学研究科修士課程修了。京都大学医学部助手、同大学薬学部助教授を経て1996年同大学大学院薬学研究科教授、2017年京都大学名誉教授。2008年京都大学副理事、2010年京都大学大学院薬学研究科長。現在、京都大学理事補(研究)、学術研究支援室長、特任教授。



山本進一 : 研究大学コンソーシアム 全体会議 議長

名古屋大学理事・副総長、岡山大学理事・副学長を経て、現在、自然科学研究機構研究推進本部客員教授並びに独立行政法人大学改革支援・学位授与機構研究開発部長(特任教授)。研究大学コンソーシアムでは全体会議議長とともに「高度専門人材・研究環境支援人材の活用に関するタスクフォース」に関する座長。

村瀬 剛太 : 文部科学省 科学技術・学術政策局
産業連携・地域支援課 大学技術移転推進室 室長

平成7年に文部省入省。高等教育局視学官、神戸大学理事補佐、大臣官房政策課企画官等を経て、29年4月より現職